

57-3・4次隊

# 協力隊派遣受入希望調査表

昭和57年4月

NO. 1

農 林 水 産 部 門

国際協力事業団

青年海外協力隊事務局

J/333.9  
SE  
57-2

5117



57年度第3・4次隊協力隊員派遣受入希望調査表

目 次

No.1

職 種	要請数	国 名	調の有無 査表無	ペ ー ジ	職 種	要請数	国 名	調の有無 査表無	ポ ー ジ
101 食 用 作 物	1	ザ ン ビ ア	⊕	1	142 養 鶏	1	マ レ イ シ ア	⊕	37
	1	ザ ン ビ ア	⊕	2		1	バ ン グ ラ デ シ ュ	⊕	38
102 稲 作	1	フ ィ リ ピ ン	⊕	3		1	バ ン グ ラ デ シ ュ	⊕	39
	2	バ ン グ ラ デ シ ュ	⊕	4		1	ザ ン ビ ア	⊕	40
	1	リ ベ リ ア	⊕	5	144 養 蜂	1	バ ラ グ ア イ	⊕	41
104 花 き 菜	1	ホ ン ジ ュ ラ ス	⊕	6	145 獣 医 師	1	ザ ン ビ ア	⊕	42
105 野 菜	2	マ レ イ シ ア	⊕	7		1	ザ ン ビ ア		
	2	マ レ イ シ ア	⊕			1	セ ネ ガ ル	⊕	43
	1	バ ン グ ラ デ シ ュ	⊕	8		1	バ ラ グ ア イ	⊕	44
	2	バ ン グ ラ デ シ ュ	⊕	9	152 漁 業 協 同 組 合	1	ホ ン ジ ュ ラ ス	⊕	45
	1	バ ン グ ラ デ シ ュ	⊕	10		1	ホ ン ジ ュ ラ ス		
	1	バ ン グ ラ デ シ ュ	⊕	11	153 村 落 開 発 普 及 員	1	ガ ー ナ	⊕	46
	1	バ ン グ ラ デ シ ュ	⊕	12	160 食 品 加 工	1	フ ィ リ ピ ン	⊕	47
	1	バ ン グ ラ デ シ ュ	⊕		161 農 産 物 加 工	1	ホ ン ジ ュ ラ ス		
	1	ス リ ・ ラ ン カ	⊕	13	166 水 産 物 加 工	1	フ ィ リ ピ ン	⊕	48
	3	ケ ニ ア	⊕	14		1	ス リ ・ ラ ン カ	⊕	49
	1	ケ ニ ア	⊕	15		1	ホ ン ジ ュ ラ ス	⊕	50
	1	ザ ン ビ ア			170 森 林 経 営 法	1	ネ パ ー ル	⊕	51
	1	リ ベ リ ア	⊕	16	181 漁 具 漁 法	1	フ ィ リ ピ ン	⊕	52
	6	セ ネ ガ ル	⊕	17		1	フ ィ リ ピ ン	⊕	53
	1	西 サ モ ア				1	フ ィ リ ピ ン	⊕	54
	1	西 サ モ ア				1	フ ィ リ ピ ン	⊕	55
	1	モ ル デ ィ ブ				1	シ リ ア	⊕	56
106 果 樹	1	バ ン グ ラ デ シ ュ	⊕	18		2	ケ ニ ア	⊕	57
	2	ネ パ ー ル	⊕	19		1	ガ ー ナ		
	1	バ ラ グ ア イ			182 養 殖	1	フ ィ リ ピ ン	⊕	58
112 き の こ	1	シ リ ア	⊕	20		1	フ ィ リ ピ ン	⊕	59
116 土 壌 肥 料	2	タ ン ザ ニ ア	⊕	21		1	フ ィ リ ピ ン	⊕	60
120 農 業 土 木	1	フ ィ リ ピ ン	⊕	22		1	フ ィ リ ピ ン	⊕	61
	1	フ ィ リ ピ ン	⊕	23		1	マ レ イ シ ア		
	1	バ ン グ ラ デ シ ュ			182 養 殖	1	バ ン グ ラ デ シ ュ	⊕	62
	1	ネ パ ー ル	⊕	24		1	バ ン グ ラ デ シ ュ		
	1	タ ン ザ ニ ア				1	シ リ ア	⊕	63
	1	マ ラ ウ イ	⊕	25		2	シ リ ア		
	1	ペ ル ー	⊕	26		1	マ ラ ウ イ	⊕	64
125 農 業 機 械	1	マ レ イ シ ア	⊕	27		1	セ ネ ガ ル		
	1	バ ン グ ラ デ シ ュ	⊕	28		1	ホ ン ジ ュ ラ ス		
	1	ケ ニ ア	⊕	29		2	ボ リ ビ ア		
	1	サ ン ビ ア	⊕	30		1	ト ン ガ	⊕	65
	1	ホ ン ジ ュ ラ ス			191 農 林 統 計	1	ガ ー ナ	⊕	66
	1	バ ラ グ ア イ	⊕	31					
130 養 蚕	1	フ ィ リ ピ ン	⊕	32					
	1	タ イ	⊕	33					
141 家 畜 飼 育	1	フ ィ リ ピ ン	⊕	34					
	1	マ レ イ シ ア	⊕	35					
	1	タ イ	⊕	36					
	1	タ イ							

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 7月 17日

ザンビア

101 食用作物

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Farm Manager / <del>農場長</del>	(男) <del>1</del> 1 人	訓練開始 57年4~6月
	(日本語) 農場長 <del>農場長</del>	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 57年8~10月 受入期限 年月迄に現地到着のこと

**(1) 配属先**

イ. 配属先名称 (現地公用語): OFFICE OF THE PRIME MINISTER

(日本語): 総理府

ロ. 隊員勤務先名称: NDOLA URBAN DISTRICT COUNCIL COMMERCIAL UNDERTAKING DEPARTMENT 日本語名称 (ドナ市役所商業事業局)

所在地: P.O. Box 71198 NDOLA 主要都市からの距離 (ドナより 20 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: Ndola市役所商業事業局は国の地方農業振興政策(リマカシフト)の一環として1976年市営農場としての700エーカーの土地を確保し、既にそのうちの120エーカーを牧牛、果樹、野菜、穀物の栽培に開拓したが未だ黒字経営に至っていない。23名の現地人農業技術者と多数のWorkerがいるが農場長はいない。 (5エーカーの野菜畑に敷設されている)

ニ. 設備概要: 豊富な地下水を利用した3気筒ディーゼルエンジンにより汲み上げている灌漑設備、スプリンクラーが34種の鶏舎(600羽収容可。現在は600羽しかいない)、採乳場1棟(24頭同時搾乳可)、豚舎、農機具作業所、消毒設備、飼料作業所、事務所等農業設備は一通り揃っている。

(2) 隊員の業務内容: 隊員は農場長あるいは農場長代理としてドナの農場経営に係わる業務をこなすほか、現地人スタッフに仕事を通じて訓練指導する。

- 1) 隊員の地位: 農場長あるいは農場長代理 (商業事業局長の下となる)
- 2) 技術的範囲: 酪農、果樹、野菜、養鶏、養豚、穀物を含む大規模農場の生産技術及び経営全般にわたる広範囲な知識・技術が必要となる。
- 3) 業務の形態: 隊員は市で経営する大規模直営農場の農場長として全部を任せられるTopの地位にあり、農場長としての事務処理、経営指導はもとより現場にあり、実地指導を行なうことになる。
- 4) カウンターパート: 農場長代理、農業専門学校を卒業した22名の技術者がカウンターパートになりうる。
- 5) 現地で利用できる機材: トラクター、鋤、鋤、飼料作業機、脱穀機、消毒機、精粉機、種播機
- 6) 職場に於ける外国人: なし
- 7) 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 国の農業振興政策、特に“家畜飼料を自国生産しよう”とのキャンペーンの中で、現実には飼料にまで手が回らない非常に難しい状況を抱えながら当Ndola市は農場経営をした。しかし未だ商業ベースにまでは至っておらず、高度な技術水準、知識を持つ日本人農場長を迎えることにより、自前での家畜用飼料を作れるようになり、黒字経営になるまでアドバイス、手助けしてもらえ人物を我がJOCVを通じて強く期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 大卒 (農学部、修士課程卒業であれば可) 以上。
- ② 実務経験 5年以上 (大規模農場)
- ③ 単車運転免許      ④ 英語必須
- ⑤ 上司としての指導力、経営能力のある者

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 6月 30日

101 食用作物

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 57年 4~6月
	Farming Enterprize	(女) 人	派遣予定 57年 8~10月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
農場経営			

**(1) 配属先**

イ. 配属先名称 (現地公用語): OFFICE OF THE PRIME MINISTER  
 (日本語): 総理府

ロ. 隊員勤務先名称: Mufulira District Council 日本語名称 (ムフリラ市役所)  
 所在地: P.O.Box 798, Mufulira 主要都市からの距離 (ムカより400キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1978年市が所有財産であった261haを直営の市営農場として買いあげ1.5haが  
 耕地で、バナナ、メイズ、野菜、養鶏、豆類の生産経営にあつてきた。現在3名のザンビア人農業技術者、17名の  
 Workerがいる。

ニ. 設備概要: 事務所、作業所、簡易灌漑設備、スプリンクラー、小型ダム、倉庫、鶏舎1棟(7羽収容可能)  
 農機具類が備わっている。(例)ホンダ耕運機一式、揚水ポンプ

(2) 隊員の業務内容: 現在行なわれている上記農作物が商業ベースにのって自立採算がとれるように  
 現地スタッフを使って指導すると共にこの農場がザンビア人農業従事者にとってよい生産経営の  
 見本刺激となり、地域農業振興を促進するよう努めなければならぬ。

① 隊員の業務上の地位: 農業経営アドバイザー

② 技術の範囲: 食糧、野菜、家畜を含む大規模農場の生産技術及び経営全般にわたる広範囲な知識  
 技術が必要となる。更に現地の酸性土壌に適した農作物の育成、土壌改良も必要  
 となる。

③ 業務の形態: 気象、水利条件を考慮した上で栽培作物を耕地に割り、Workerを使って商業ベース  
 に乗るよう実践し、指導する。

④ 対象者及びカウナーパート: 農業専門学校を卒業した3名の技術者がアシスタントとなりうる。  
 他に17名のWorker

⑤ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 国の地才農業振興政策(リマ・プロジェクト)の環として各地  
 自治体は農場直営をしており未だ商業ベースにのっていない。そのためムカに有効な農場  
 経営をするかに腐心しており、当ムフリラ市役所においても新しい外国人経営アドバイザーを受入れること  
 によりこれまでの赤字経営に切りかえ打ち、商業ベースに乗せることを期待している。知識、技術、マネジメン全般について高く  
 評価されている日本の農業アドバイザーを我がJOCVEを通じて派遣されることを強く期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 農大卒
- ② 実務経験 5年以上: 実際には小さくとも農場経営をしていた者がふさわしい。
- ③ 単身免許
- ④ 英語必須 ⑤ 健康にして、自らの健康管理ができる精神力の強い者

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 4月 10日

102 稲 作

調査者氏名 新井 昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 56年 2 月
	米穀品質管理技術	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

**(1) 配属先**

- イ. 配属先名称 (現地公用語): *Agricultural Credit Administration (ACA)*  
(日本語): *農業信用機構*
- ロ. 隊員勤務先名称: *Compact Farms clusters* 日本語名称 ( )  
所在地: *Baliwag Bulacan* 主要都市からの距離 (マニラより 70キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: *Compact Farm* の生産 (米) を支える貯蔵及び市場の整備に、*Rice Mill complex* を設立する。  
*Complex* の規模は、*1200* ㎡の最終決定を行うこととする。
- ニ. 設備概要: *Rice Mill complex* に、必要設備 (機械) を設置することとする。詳細は別紙 (英文) 参照

**(2) 隊員の業務内容:**

- 隊員の業務上の地位; *ACA* 所屬の技術者
- 技術の範囲; 米の品質管理に関する全般的知識
- 業務の形態; *Rice Mill complex* 内の技術者の指導及び監督
- 対象者及びそのカウンスラーとしての技術水準 号下及び命令  
; 見伴的 counterparts は、今後の決定に依るが、適格者を得るための技術水準を、設けたいこととする。
- 現地で利用可能な機械; *Rice Mill complex* は、*1200* ㎡の整備 (工) 及び *200* ㎡あり、必要設備 (機械) は整っている予定
- 取場に在り得る外国人及び自米管内家への配置状況  
; フィリピン人の *Volunteer* が全体の計画立案者として参加予定
- 使用すべき言語; 英語

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待:** フィリピンには、*1950* 年代後半の生産の増進に伴い、輸出が可能となっている。その一環として、*Compact Farm* に、*ACA* の生産指導がある。今後の課題は、*1200* ㎡の市場への出荷である。そのための試みとして、*Rice Mill complex* を設立し、*1950* 年代後半の貯蔵を、*1200* ㎡とする。日本には、*1950* 年代後半の貯蔵方法を、高く評価して、*1200* ㎡の貯蔵を、*1200* ㎡とする。

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**  
当該分野に於ける経験 2年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

102 稲 作

記入昭和 57 年 3 月 13 日

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Rice Culture	(男) 2 人	訓練開始 57 年 10 月
	(日本語) 102 稲作	(女) 人	派遣予定 58 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月 迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Directorate of Agriculture (Extension & Management)  
(日本語): 農林省農業普及局

2. 隊員勤務先名称: Agriculture training Institute (AETI) 日本語名称 (農業普及員養成所)  
所在地: Dinajpur, ~~and~~ hathazari 主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: 農業改良普及局を育成する2年制の政府機関。全国に12ヶ所あり。  
来年度5ヶ所計画にて世銀の援助を得て計20ヶ所に作る予定。校長, 職員等約20名。  
生徒数100~150名。デヒジャールは北, 11-11ガリは4, 9, 13地区で共に隊員派遣は初。  
4. 設備概要: 事務所, 職員住宅, 生徒用宿舎, 農場用ポンプ, 耕耘機等。

(2) 隊員の業務内容: 2年制の農業普及員養成所で、農学I, II, 作物保護, 農業機械, 農業普及, 畜産, 農業協同組合, 園芸の8教科があり、隊員は農学を担当し、主に稲作の実技指導にあたる。最大の意向としては、土壌, 肥料に強いニーズが期待されている。生徒実習用プロットの実技指導の他、直接訪れる農民への指導にもあたる。

- 1) 隊員の業務上の地位: 教官
- 2) 技術の範囲: 稲作栽培の可能なこと、相当する農学IIはせらおしも稲作のみではなく、土壌, 肥料, 病虫害等の知識があればなおよい。
- 3) 業務の形態: 学生の知識を基に実習指導を担当する。授業も可能な場合は週1回程度受持つ。
- 4) 対象者及びカウンターパート: 生徒は18~20才で初めて農業を学ぶ者が多い。カウンターパートは教官で大卒2~3年。
- 5) 現地で利用できる機械: 上記設備。
- 6) 取場における外国人等: 11名
- 7) 使用する言語: 生徒および農民とはベンガル語、校長, 教官等とは英語も必要となる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 昭和48年よりAETIに隊員が派遣されており、現在7ヶ所13名が配属されている。新設校へも是非欲しいと本要請を口にした。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
農学部系卒

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

101 稲 作

記入昭和56年 4月 8日

調査者氏名 仲井儀英

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
リベリア	(現地公用語) Agriculture Teacher	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 稲作	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education  
(日本語): 教育省

ロ. 隊員勤務先名称: 地方都市の高校  
所在地: } 日本語名称 ( )  
主要都市からの距離 ( より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 生徒数 800~1000名 中学1年~高校3年生の  
High School. 学校所属の農地と生徒に農作物のつくり方を  
指導。  
利用

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

学校教育の中の農業実習を導入し、生徒自から農作物を  
得て学校給食用に供す。又生産物を市場で売って学校教員  
等得ることもできる。スキ、クワ、たき、すいて、ハンドツールを用  
いて指導する。  
今回募集の隊員は、その可能性を探り、将来の布石となる  
努力が必要となる。

適正農地の選抜、レイアウト、学室の指導要領手順  
手法の作成、

3/4 稲作専(農業土木)隊員が事前調査に就事しており  
別途報告書作成中。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

農業は今後主要な産業とならねばならぬ、適宜の機械化  
の導入は、何れも国民の身につくものでなければならぬとの反響が  
ら農作業の普及と学校教育の場に取り入れ、ハンドツールで汗を流し  
自から食料の生産を体験させる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農業大学卒



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

101 稲 作

記入 昭和 56 年 4 月 8 日

調査者氏名 仲井儀英

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
リベリア	(現地公用語) Agriculture Teacher	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 稲作	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education  
(日本語): 教育省
- ロ. 隊員勤務先名称: } 地方都市の高校  
所在地: } 日本語名称 ( )  
主要都市からの距離 ( より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 生徒数 800 ~ 1000 名 中学 1 年 ~ 高校 3 年迄の High School. 学校所属の農地を生徒に農作物のつくり方を指導し、  
利用 ~~指導~~
- ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

学校教育の中の農業実習を導入し、生徒自から農作物を  
得て学校給食用に供す。又生産物を市場で売って学校教員  
等得ることもできる。スキ、クワ、たばこ、すく、ハンドツールを用  
いて指導する。  
今回募集の隊員は、その可能性を探り、将来の布石となる  
努力が必要となる。

適正農地の選定、レイアウト、学生の指導要領手順  
手法の作成、

3/4 稲作専(農業土木)隊員が事前調査に就事しており  
別途報告書作成したい。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

農業は今後主要な産業とならねばならぬ、過去の機械化  
の遅れた方式は、何と農民の身につくものでなければならぬとの反省か  
ら農作業の普及と学校教育の場でも取り入れ、ハンドツールで研を流し  
自から食料の生産を体験させる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農業大学卒

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 57 年 2 月 23 日

104 花 き

調査者氏名 田上 美 瀬子 誠

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ホンデュラス	(現地公用語) Floricultura	新規	(男) 人	58年2月	
	(日本語) 花卉栽培	交替	(女) 人 (男女不問) 1人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称 (現地公用語): Secretariya de Recursos Naturales  
(日本語): 天然資源省
- ② 隊員勤務先名称: Extensión Agricola Tegucigalpa 日本語名称 (農業普及事務所)  
所在地: Tegucigalpa 主要都市 (首都) から キロ
- ③ 事業規模及び内容: 農業普及事務所所属の花栽培農家への助成  
及び普及活動を行う。同時に花卉プロジェクトの継続を行う
- ④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 農場は 1ha、十分な設備あり

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 農業技術官 (Ingeniero Agronomo) として高位にあり。
- ② 技術の範囲: カンパシオン、ハズ、キリ、アソソラム ン類 グラジオス アスター  
類 樹木、観葉植物、干花、ローズ、その他、知識
- ③ 業務の形態: ① プロジェクトの責任者として農場の運営のすべてにあたる  
② 栽培農家の要請に応じ普及及び指導にあたる。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:

現在 40 歳 経験豊富でカウンターパートあり。

⑤ 現地で利用できる機材:

- ⑥ 第3国人等の配置状況: 1人
- ⑦ 使用する言語: スパニッシュ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 本国は少額切花輸入国であり国内生産に  
国内の需要に応じると同時に将来輸出品の一つとして農家を  
育成するべく状況にある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 大学卒業経験2年以上 ③ 適応力がある健康的な人

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

58.7.25

10302 野 菜

記入昭和 54 年 5 月 28 日

調査者氏名 草野忠行

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語) Tanam Sayur	(男) 2人	訓練開始 年 月
	(日本語) 野菜栽培	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Lembaga Kemajuan Tanah Persekutuan (Felda)  
(日本語): 土地開発公団

ロ. 隊員勤務先名称: Felda 入植地 日本語名称 ( )  
所在地: 未定 (隊員派遣が決定後 決まる) 主要都市からの距離 ( より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: Felda 1つの入植地面積 約 4000 ~ 5000 エー, 入植家族数 400 家族 からの入植地を全土に 約 262 箇所 所有 により 各地に 各地で 栽培・生産 している。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- ・ 各入植者の家を巡回訪問し 庭先や近くの空地に自家消費用野菜を栽培 する 普及指導 する 事が 要請 されている。
- ・ Felda の 野菜栽培 隊員 専属 の ための 10-15 (野菜栽培 普及) を 設置 する こと により 各 入植地 に対して 野菜栽培 技術 の 指導 すると 共に, 10-15 普及 活動 を 行う。
- ・ 入植者の 主な 仕事 は 自家消費 用 や 公園 の 管理 であり 自家消費 用 の 管理 の 主な 仕事 の 終了 後 余暇 の 時間 と なる ため 巡回 指導 は 午後 4:00 2:30 開始 する。 したがって 午前の 時間は 展示園 の 管理 につかされる。
- ・ ナス, 茄子, ピーマン, キュウリ, ナス, キュウリ, ナス, トウモロコシ, トウモロコシ, 人参, 落花生 などが 栽培 されている。
- ・ 使用言語 ⇒ ~~マレー語~~ マレー語 ・ 機材 ⇒ 作業衣 24 点 の 携行 が必要 (レポート が 書かれた 冊子 あり)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

入植者が 自家消費 用 を 野菜 を 自給 すること で 余剰 の 現金 支出 を 防ぎたい ため である。 したがって 隊員 の 派遣 が 派遣 される。 (現在 6 名 が 活動 中) したがって 前任 隊員 の 実績 を 高く 評価 され 今回 の 要請 と なる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農業 大学 卒業 (高卒 中 農業 学校 卒 で 野菜 栽培 の 経験 あり) (2 年以上 の 野菜 栽培 の 経験 (実務) 経験 と 有 必要)

毎年 (90%) 応募 できる 事。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 57 年 3 月 3 日

105 野 菜

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Horticulture	(男) 1 人	訓練開始 57 年 10 月
	(日本語) 105 野菜	(女) 人	派遣予定 58 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Bangladesh Agricultural Development Cooperation (BADC)  
(日本語): バングラデシュ農業開発公社
- ロ. 隊員勤務先名称: Rajshahi Agricultural Development Estate 日本語名称 (ラジサイ農業開発農場)  
所在地: P.O. Sopura, Dist. Rajshahi 主要都市からの距離 (ダッカより230キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 野菜種子 種苗生産 場内の展示圃場を備えて融資を含んだ農民への普及活動及び農業技術向上を図る目的を掲げており、場長の下に農協、農技、普及を担当する副場長2名、普及員13名が、3万エーカーの計画地域内の農家を傘下としている。
- ニ. 設備概要: 農場面積 20エーカー (栽培面積 16エーカー) に深井戸ポンプ1口、トラクター5台、鶏舎等他に事務所、マシステーション、職員住宅等を有す。

(2) 隊員の業務内容:

- 農場内における野菜全般に対し栽培技術、採種技術の指導を中心に、周辺農家に対する普及活動にあたる。
- 1) 隊員の業務上の地位: 農場内での技術全般及び普及部門を担当する副場長格度。
- 2) 技術の範囲: 野菜、一般作物、果樹の栽培、育種、採種技術及び土壌に関する知識が重視される。
- 3) 業務の形態: 農場内の技術を担当し、周辺農家への技術普及を行う。
- 4) 対象者及びカウンターパート: 農場内では農場管理人、普及活動では普及員と農民が主な対象となる。カウンターパートは農業大卒卒業の職員だが技術水準は高くはない。農場管理人及び普及員の2名が日本の研修経験をもつ。
- 5) 現地で利用できる機械: 上記設備概要の他に耕耘機1台、噴霧器、動噴3台等が利用可能。
- 6) 取場の外国人: 他に3人、他の3農場にそれぞれ隊員がいる。
- 7) 使用言語: 事務所 農民ともベンガル語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

- 農業普及活動、採種を行う上で理論、知識と実際に役立つ技術と備えた人材が求められている。
- 農場内では採種の技術改善が期待されている。4代目となる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 短大卒以上、採種経験あることが望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 10 月 27 日

105 野 菜

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Horticulture	(男) 2 人	訓練開始 57 年 4・8 月
	(日本語) 105 野菜	(女) 1 人	派遣予定 57 年 8・10 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Directorate of Agriculture (Extension & Management)  
(日本語): Ministry of Agriculture & Forest 農林省 農業局 (AET)
- ロ. 隊員勤務先名称: Agriculture Extension Training Institute 本語名称 (農業普及員養成所)  
所在地: ヒートバザリ, FITビル IV, (ヒートバザリ) 主要都市からの距離 (より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 農業改良普及員を養成する政府機関。全国に12か所あり。  
が2次5か年計画に2世銀の援助を得て計20か所にする予定。校長、職員等各約20名  
生徒数 100~150名。2年制コース。
- ニ. 設備概要: 事務所、職員住宅、生徒用宿舎、農場用ポンプ、耕耘機等。

- (2) 隊員の業務内容: 2年制の農業普及員養成所で農学 I、II、作物保護、農業機械、農業普及、園芸、畜産の7教科があり、隊員は園芸を担当し、主に実技指導にあたる。生徒実習用プールの実技指導の他、直接訪れる農民への指導にもあたる。
- 1) 隊員の業務上の地位: 教官
  - 2) 技術の範囲: 野菜栽培が可能なこと。キャベツ、カリフラワー、ルッコラ、子持ちカボチャ、西瓜等を栽培している。
  - 3) 業務の形態: 学生のカルキルームに基づき実習時間口担当する。授業も可能な場合は週1回程度受持つ
  - 4) 対象者およびカリキュラム: 生徒は18~20歳で初めて農業を学ぶ者が多い。カリキュラムは教官で大体2~3年。
  - 5) 現地で利用できる機械: 土池設備
  - 6) 取場における外国人等: いない。
  - 7) 使用する言語: 生徒および農民とはベンガリ語。校長、教官等とは英語も必要とある。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 昭和48年より AET II に隊員が派遣されており、現在6か所13名が配属されている。新設校への是非欲しいと本要請となった。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農学部系卒

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 57 年 3 月 10 日

105 野 菜

調査者氏名 表 伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Horticulture	(男) 1 人	訓練開始 57 年 10 月
	(日本語) 105 野菜	(女) 人	派遣予定 58 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Directorate of Agriculture (Extension & Management)  
(日本語): 農林省農業普及局 (AETI)

ロ. 隊員勤務先名称: Khadinagar Agriculture Extension Training Institute (カティナガール農業普及養成所)  
所在地: Khadinagar (Sylhet) 主要都市からの距離 (ダカより 350 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 農業普及局を養成する行政機関の生徒数約 200 名, 耕地面積  
水田 20 エーカー, 畑 1 エーカー, 果樹園 1.5 エーカー, 世銀の援助を得て 78 年設立

ニ. 設備概要: 事務所, 教室, 生徒寮, 職員住宅, 農機具及びトラクタ, 耕耘機, ホンゾ, 噴霧器  
等. 施設は世銀援助の 67 年完成の新らしいもの.

(2) 隊員の業務内容: 農業普及養成所での農学 I, II 作物保護, 農業機械, 農業普及, 畜産,  
農業協同組合 園芸の 8 教科があり, 園芸の教官として, カウンサーと共に生徒に実習の  
指導にあたる. 近隣農家への普及活動を行う。

1) 隊員の業務上の地位: 教官

2) 技術の範囲: 野菜全般, 特に乾期作, キババツ, カリフラワー, タニコ, トマト,  
トマト栽培指導可能な技術.

3) 業務の形態: 園芸での指導の他, 学生への実習指導, 同近農家への巡回指導, 言葉  
に慣れてくれば講義も一部受持つ。

4) 対象者及びカウンセラー: 学生は 10 学年卒で 20 才前後. 農家自身者が多いが基礎  
知識に欠ける. カウンサーは農学部系大卒者で 30 才前後, 理論的方面では  
強いが実務面の経験は乏しい。

5) 現地で利用できる機材: 上記農業機械

6) 取場の外国人: 他, 他部門での JOCV 隊員.

7) 使用する言語: 生徒とはベンガル語, 校長, 教官とは英語も必要.

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 農業改良普及局養成所には, 現在 70 名 13 名の  
隊員が配属され, 実務面の指導にあたりている. または 2 代目となり, 校長は  
日本人の勤奮振り, 実務面の指導に期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農学部系短大卒以上.

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 57年 3月 1日

105 野 菜

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Vegetable Breeding	(男) 1人	訓練開始 57年10月
	(日本語) 105 野菜	(女) 人	派遣予定 58年2月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 BARI

1. 配属先名称 (現地公用語): Citrus and Vegetable Seed Research Centre (CURC)  
(日本語): 柑橘野菜種子研究センター

ロ. 隊員勤務先名称: Rangpur 日本語名称 (バングラデシュ)  
所在地: Mohigonj, Rangpur 主要都市からの距離 (ダッカより320キロ)

ハ. 事業規模及び内容: Rangpur 支場は現在コットンリサーチセンターとの共存という形で事業が行われている。圃場面積24エーカー (CURC約1エーカー、コットン10エーカー、一般圃場13エーカー)

ニ. 設備概要: 事務所、耕耘機1、ポンプ1、牛8頭、宿泊施設なし

(2) 隊員の業務内容:

1) 隊員の業務上の地位: 主任研究官と研究官の中間程度

2) 技術の範囲: 野菜の試作、外国導入種、在来種より商品種の選抜・育成、採種が主な業務。キャベツ、ブロッコリ、カリフラワー、カイロ、かぼち、豆類等。

3) 業務の形態: 主センターの指示に基づき業務を行う。

4) カウンターパート: 現在ないが配属される予定

5) 現地で利用できる機材: 耕耘機、ポンプ。ポンプは2台ある予定。

6) 取場における外国人: サブセンターにはいはいが、主センターには JICA 専門家 3 名、調整員の 4 名 (リーダー 1、果樹 1、野菜 1、調整員 1) がいる。

7) 使用言語: バングラデシュ語、オフィサーは英語可。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 野菜普及のネックは種子生産にあり、CURCは種子、柑橘研究所として、JICA 協力に基づき設置された。在来種の種子改良選抜は中心の主要なのみならず、各サブセンターの気候条件等にあった種子研究をすすめる必要があり、各サブセンターの技術面を隊員に期待している。2代目となる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
大卒、試験研究の知識があることが望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

105 野 10302 野菜

記入昭和 55 年 9 月 12 日

調査者氏名 表 伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Vegetable Seedling	(男) 人	訓練開始 56 年 4 月
	(日本語) 10302 野菜	(女) 1人	派遣予定 56 年 8 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56 年 8 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Women's Programme, Integrated Development Programme (IRDP)  
(日本語): 総合農村開発計画 婦人プログラム

ロ. 隊員勤務先名称: Jhikangacha Bui Shasha Rural 日本語名称 (ジカガチャブイシャシャ) 農村婦人組合  
所在地: Women's Co-operative. 主要都市からの距離: 22 マイル

ハ. 事業規模及び内容: IRDP 婦人プログラムは 1974 年よりスタートして 11 年が実績、規模も小さく、回教国の婦人の社会的地位の向上を目指し、2 次 5 年計画により婦人の経済的生産活動に従事するための指導が取上げられている。

ニ. 設備概要: 全国に 190 の婦人組合があり、ジカガチャは 13 村約 1,500 名、ジャバは 18 村 600 人程のメンバーがいる。

(2) 隊員の業務内容: 婦人プログラムは、家族計画の推進、他、農協での家政講習会や飼育、養鶏、家庭菜園、手工芸、軽工業への貸付等を実施してきた。今回の野菜は、夫が稲作に出ている間、家庭用菜園促進の他、周囲で出来る上記の全般について指導して欲しいとの要請である。併せて野菜種子の生産も行われ商業ベースにのせたという意向があったが、農業に暗い人たちの企画であり、あまり深く考へる必要はないと思われる。

- 1) 隊員の業務上の地位: 婦人組合の助言者
- 2) 技術の範囲: 野菜の栽培技術がある他、生活改良普及員的に幅広く一語に考へ工夫できる人。
- 3) 業務の形態: 組合員の 11 つかの圃場指導。
- 4) 対象者およびターゲット: 農村女性が対象であるが社会に出ない場合が多くほとんど文盲の人たちである。
- 5) 現地で利用できる機械: プロジェクターとテープレコーダー程度。
- 6) 取場における外国人等: 中央にアハハセに西郷婦人。
- 7) 使用する言語: ベンガル語
- 8) その他: モスリの農村社会に外人女性が住むには 11303 年困難な伴は、相応の賃料が必要。2 人ずつペアとって入る。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 婦人プログラムの責任者は昔、日本人専門家の婦人に接し、何でもやる姿を見ており、過剰な程期待をしている。しかしながら、各技術について素人であるため、企画も実行の域を出ないものも多く、隊員によって実体づくりが迫られる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
農学部卒、初の JOCV 女性隊員として、閉鎖的農村社会に住むことに挑戦しようという心構えのある人。



# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 8月 29日

105 野 菜

調査者氏名 平沢 昭 男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
スリランカ	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	園芸作物(野菜)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

**(1) 配属先**

1. 配属先名称 (現地公用語): National Youth Service Council

(日本語): 国家青年奉仕評議会

ロ. 隊員勤務先名称: Nilaveli Training Center 日本語名称 (シンハラ語) ニラヴェリ トレーニング センター

所在地: Nilaveli, Kumburupitiya 主要都市からの距離 (コロンボより) 21キロ

ハ. 事業規模及び内容: 1979年度予算は2000万ルピー (約2億8000万円)、国内全域を7つのリージョンに分け、それぞれリージョンセンターを有するほか、全国に70所 (新設中20所を含む) のトレーニングセンターがあり、各地で主として out-of-school の青年達に、村営にかけるトレーニング

ニ. 設備概要: 1) 教員 自らのための教育訓練施設。2) 。

3) 17棟の事務所、教室、訓練生用宿舎、12のテナ、農場。

**(2) 隊員の業務内容:**

1. 隊員の業務上の地位: Instructor (Centerの長である District Youth Service Officerと同等の扱いになる)

2. 技術の範囲: センター全体の位置が海岸に近く、農場の土壌は砂質で、水は石灰質である。出来は石灰質地での野菜栽培経験のあることが望ましい。玉ネギ、ニカラリ、人参、トマト、キャベツ等一応野菜全般の栽培技術が望ましい。

3. 業務の形態: 実習農場の管理と、実習指導 (午前) 及び講義 (午後) 30分。センターでの訓練を終えて、受取した若者には、直ぐに未開地へと送り出し、これを“卒業生”に対する1ヶ月指導も業務の一環として組み入れる。

4. カラダレポート等: 直接指導の対象となる生徒は農家の出身者で、年齢は主として20~22才。カラダレポートでは122577-1 GCE (A level) 29才、Technical Collegeを3年間農業を学んだか、実践技術はない。

5. 利用可能な機材: 基本的な農具、耕耘機、ポンプ等。

6. 外国人等: 現在UVVが3人いるが、おろしに乗り換えることである。

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待:** 7: 使用する言語: シンハラ語。

Nilaveli Training Centerは55年1月に開所されたばかりで、約40~50人の農業、建築 (シニカ積み) 等を学んでいるが、農業に関しては近頃の研究所があるにもかかわらず、選出されるべきであり、その実での協力を望んでいる。

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**

農業高校卒以上、農家出身が経験が豊富である方がよいのは当然である。年齢 25才以下。  
○ 単車免許

# 日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

10302 野 菜

記入昭和 55 年 9 月 9 日

調査者氏名 豊厚 一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ケニア	(現地公用語) HORTICULTURE	(男) 3 人	訓練開始 57 年 4 月
	(日本語) 野菜栽培	(女) 人	派遣予定 57 年 8 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 57 年 8 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF AGRICULTURE  
(日本語): 農業者
- ロ. 隊員勤務先名称: DISTRICT AGRICULTURAL OFFICE 日本語名称 ( 果農業者事務所 )  
所在地: 各県庁 主要都市からの距離 ( より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 果物の農業を主管する事務所であるが、日本の中・小都市の農業  
主管課程度のもの。
- ニ. 設備概要: 事務所と隣接して試験場の設備がある場合が多い。

(2) 隊員の業務内容:

1. 業務上の地位: 技術普及員
2. 技術の範囲: 野菜栽培全般、場合によっては果樹栽培が含まれる
3. 業務の形態: 普及活動及び展示菜園の管理
4. 対象者や条件: 農民が対象であるが、カウンターパート的存在としてケニア人普及員  
のほか作業員がいる。
5. 利用する教材: ない。
6. 村の人々との関係: 平和部隊(米田)等と協力して仕事をする場合もある。他にドクター  
や助産師が住んでいる。
7. 使用する言語: 英語・スワヒリ語
8. 交替かどうか: 一度交替要員として出されるが、場合により新しい県に配属する  
可能性もある。  
交替の場合、  
森正志(53.2.前)、黒田謙三(54.2)の交替がある。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニアは農業国であり、第4次5年計画で教育  
と共に農業の振興に重点が置かれている。特に最近の海外へ輸出用の高級  
野菜の栽培技術の向上が目標とされており、日本の協力隊の活躍が大いに期待  
されている次第。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

短大又は大学卒、或は農の農業技術研修卒でなければならない。但し  
(年齢は 22 歳以上) で若干の実地経験があることが望ましい。(卒業免許)

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

10802 野 稟

記入昭和 55年 4月 22日

調査者氏名 石川 満男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ケニア	(現地公用語) Crop Science	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 作物学	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Higher Education  
(日本語): 高等教育省

ロ. 隊員勤務先名称: The Jomo Kenyatta college of Agriculture & Technology  
日本語名称 (注: ケニアの農工大学)  
所在地: 主要都市からの距離 (首都より 35キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 我国の無償資金協力の(約 48億円)及び技術協力により  
新設される四年制大学 農学部3学科(園芸・農業工学・食品加工)、  
工学部3学科(機械工学・土木建築・電気) 学生数720名、教職員120名  
ニ. 設備概要: 建物・内部設備・教材・機材共規模も同じく我が  
国の大学と同じ水準のものを整備している。

(2) 隊員の業務内容:

① 大学教員 (作物学担当)

② 主要な薯類・豆類・小麦類・キャッサバに関する生理・生態栽培管理、土  
肥・肥料効果、病害虫防除、工場条件、水利  
作物気象等についての講義及び実験を担当する

③ ケニア人・日本人専門家に全く同様に大学の教員として専門科目を担当

④ 学生は K.C.E 以上 (11年以上)、年齢 18 年以上  
(Kenya certificate of Education 小学校7年中学校4年卒業)

⑤ 本邦刊行誌、機械材 (約 11 億円) を使用出来る

⑥ ケニア人教職員 80 名、日本人専門家 22 名

⑦ 英語 (講義を全て英語で行うに特に英語の堪能な者が望ましい)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニア政府は第4次経済開発5ヶ年計画(1969-73)の  
必要の中堅技術者の深刻な不足を痛感し、これに対処する為の職業  
技能訓練に重点を置いた教育制度の改革を行って来た。  
本邦は其の頂点にあつて今後ケニア人の技術者養成及び社会  
への供給を担う事が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 農学関係の大学卒以上

農業高校に於て作物学指導経験、1-2年あれば可

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年4月8日

105 野 業

調査者氏名 仲井儀美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
リベリア	(現地公用語) Agriculture Teacher	(男)	訓練開始 年 月
	(日本語) 野菜	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限の年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education  
 (日本語): 教育省  
 2. 隊員勤務先名称: } 地方都市の高校  
 所在地: } 日本語名称 ( )  
 主要都市からの距離 ( より キロ)

3. 事業規模及び内容: 生徒数 800~1000名 中学1年~高校3年生の High School. 学校所属の農地を生徒に農作物のつくり方を指導。 利用

4. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

学校教育の中の農業実習に導入し、生徒自から農作物を育てて学校給食用に供し、又生産物を市場で売って学校教員等得ることもできる。スキ、クワ、など、すべて、ハンドツールを用いて指導する。  
 今回の募集の隊員は、その可能性を探り、将来の布石となる努力が必要となる。

適正農地の選定、レイアウト、学舎の指導要領手順手帳の作成、

3/4 猪之島(農業土木)隊員が事前調査に就事しており、別途報告書を作成している。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

農業は今後主要な産業とならねばならぬ、過去の機械化の頼った方式は、何ら農民の身につくものではない。この反省から農作業の弊を学校教育の場で取り入れ、ハンドツールで汗を流し自から食料の生産を体験させる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農業大学卒

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

105 野 菜

記入昭和 56年 5月 23日

調査者氏名 草根史男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
セネガル	(現地公用語) Maraichage	(男) 6人	訓練開始 56年 10月
	(日本語) 野菜栽培	(女) 人	派遣予定 57年 2月
		(どちらでも可) 人	受入期限 57年4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

(Secretariat Executif des CER)

イ. 配属先名称 (現地公用語): Secretariat d'Etat a la Promotion Humaine

(日本語): 地域住民育成庁 農村現代化センター局

ロ. 隊員勤務先名称: Assistant Rapatriement des CER 日本語名称 ( )

所在地: 国内各州内の支局に勤務する 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 州の下上県、郡の事務所あり、村に1つ農業改良普及平常的業務を行なうと232ある。

ニ. 設備概要: 特に設備は下い配属先には既に農家を指導する農場中心に備わった場合がある。農具、肥料、灌漑設備がある。

(2) 隊員の業務内容:

隊員は日本からの農業改良普及員としての立場にあり、県内の4つのCER事務所(農業、畜産、水産、家政など)とそれぞれ担当技術者が存在している)を足場として農民に直接、農業全般に關して自ら言ふべき技術指導をおこなう。とくに野菜に關しては、婦人の労働を対象とした菜園造成がアメリカのAIDの援助により進められており、中国技術協会の進出もあり14ヶ村で菜園がつくられており、これらに先導的役割を担う。また、婦人子供達をトマト、玉ネギ、オクラ、キャベツ、トウガラシ(ピーマン) サラダ菜もつくらぬといふ。適度な技術的指導即ち必要性が感じられる。また、病虫害に対する対策を求めたい。県内の4つのCERは散在しており、状況把握し、自分のフィールドを限定するに可成りである。

言語はほぼフランス語。住民は複雑な言語を話すが、フランス語が主体である。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: すでに住民は野菜作りをしており、家庭の食糧を確保し、畑と畑を確保している。野菜栽培の下地は充分ある。稲作も盛んな土地である。両期、季節別、旬別を通じて農作業への参加を目標としている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農業改良普及員資格 (野菜栽培 2-3年の経験者)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

106 果 樹

記入昭和 56 年 10 月 14 日

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
バングラデシュ	(現地公用語) Horticulture	(男) 1 人	訓練開始 57 年 4 月
	(日本語) 106 果樹	(女) 人	派遣予定 57 年 8 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 57 年 8 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Citrus and Vegetable Research Centre (CVRC) Bangladesh Agricultural (日本語): Research Institute (BARI) 園芸研究センター 農業研究所
- ロ. 隊員勤務先名称: Citrus Research Sub-Centre 日本語名称 (柑橘研究支所) 所在地: Jaintiapur, Sylhet 主要都市からの距離 (シットより キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 農場 118エーカー, 内 34エーカー-建物, 道路, 柑橘は 40エーカー, その他 30エーカーに約 15種類の果樹, 灌漑可能面積 15エーカー, 事務所 3名, 圃場職員 13名, 労働者 49名, 計 65名 年間支出 450万円, 総収入 約 40万円, 年間降雨量 6,000ミリ
- ニ. 設備概要: トラクター 35馬力 1台, 耕運機 1台, 動力噴霧機 1台, ミスト機 3台, 手動噴霧機 5台, 発電機 1台, 事務所, 職員宿舎, 水道設備, 給電設備, 電話.

(2) 隊員の業務内容: 隊員は柑橘の栽培管理, 優良品種の選定, ローカル種の調査等のため,

- 新しい苗の植付け, 被陰樹の植樹, 土壌改良 (粗大有機物の投入, 除石), マルチング (草刈り, 雑草等) 施肥, 病害虫防除 (カイガラムシ, イカダムシ, アブラムシ, タニ, カイロウ病, ソウカ病, 黒点病等) 等の指導にあたる.
- i) 業務上の地位: 主任研究官と研究官の間
- ii) 技術の範囲: 果樹類の肥培管理, 接木 挿木 技術の指導, レモン, サイトオレジン, マダリンオレジン, ライム類の他, マンゴ, パシ, ジャックフルーツ, グアバ, パパイヤ, 雑草等.
- iii) 業務の形態: 主任の指示に基づき 上記業務を研究官と共に行う.
- iv) カンパートの技術水準: 主任研究官は大学 (修士) 後経験 8 年, 研究官は 3~5 年.
- v) 現地で利用できる機械: 上記設備
- vi) 取場における外国人: サブセクターには隊員が 1 名いるが 1982 年 2 月帰国予定, 主セクターに JICA 専任 4 名 (リーター 1, 果樹 1, 野菜 1, 飼育員 1) がいる. 果樹の技術的アドバイスを受けることができる.
- vii) 使用言語: ベンガル語, 英語もかなり使用する.

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: CVRC は 農業研究所の一部門を充て, JICA 協力に 基づき設置された, 隊員はサブセクターの地域特性を考慮した試験場としての試験研究の進行に寄与することが期待されている.

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農学部系卒

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 57年 3月 16日

106 果 樹

調査者氏名 小松 紀司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネーデル	(現地公用語)	(男) 2 人	訓練開始 58年 1月
	CITRUS CULTIVATION	(女) / 人	派遣予定 58年 4月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 58年 4月迄に現地到着のこと
柑橘類栽培			

(1) 配属先 Ministry of Food, Agriculture & Irrigation

1. 配属先名称 (現地公用語): Department of Agriculture  
 (日本語): 食糧農林省農務局

2. 隊員勤務先名称: Eastern Development Regional Directorate (東部開発農務局)  
 所在地: シンガポール (本語名称 (東部開発農務局))  
 主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: National Citrus Development Programme (ネーデル柑橘類開発計画) は シンガポールを中心とする 6地区に実施される。  
 現在 上記 長谷川 田舎各村の活動中にある。

4. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- ① 開発計画の中で柑橘類栽培専門技術者となる。
- ② 指定地区の地元農民を対象に栽培の経営を指導する。
- ③ 地元農民に苗床、播種、育苗、施肥、灌水、剪定、病虫害防除、摘果、剪定、追肥、つき木等一連について、柑橘園経営者としての知識、技術、利金助、除草、施肥、灌水、剪定、病虫害防除、整備、剪定等について指導する。
- ④ 各地区の Junior Technician or Junior Technical Assistant の担任者として、対象は J.T. or J.T.A. の地元農民とする。
- ⑤ 指導の計画
- ⑥ 研修
- ⑦ ネーデル語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ネーデルの気候条件が柑橘類栽培に適しており、農民の授産作物としての市場を高める意向がある。技術者不足により、本計画通り進めようとする日本の先進技術を導入し、計画をより早く進めたいという意向がある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

学歴は同様のが、実務に果樹園の柑橘類栽培に詳しい (IT) 経験者の望ましい。但し、農学高校卒以上とする。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和54年9月 日

105きのこ  
二次試験合格者から希望者を選抜

調査者氏名 阿部 裕子 松原 邦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
217.737 共和国	(現地公用語) マッシュルーム	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) (french) mushroom	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture & Agrarian Reform

(日本語): 農業 農地改革省

ロ. 隊員勤務先名称: Directorate of Scientific Agriculture (日本語名称: 科学農業試験場)

所在地: Douma

主要都市からの距離 (km): 20km

ハ. 事業規模及び内容:

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容: — FAOの資金援助による、217に於けるマッシュルーム栽培用先  
 共 Mushroom production Specialist とし協力す。  
 — 732年 Somyel Co. による i) Mushroom 普及のため 22274  
 ii) 技術の導入 (技術情報) が実施され、iii) マッシュルーム  
 南米販売への研究、等、全体の 70% の改善、またこの中の技術者が  
 短期間で派遣される。  
 — 現地ではこの試験場、種菌と培養箱、土壌の改良、肥料の  
 改良と関係する。  
 — 同試験場の food technology section に配属される 4-7 の  
 Mr. Omar は マッシュルームの生産の技術者で、1年間の研修  
 せんが、可能。  
 — この人物の協力により、217人の技術者、実際にこの(217)の種菌  
 培養、生産販売の 22274 となる。(全体の 70% の改善、またこの中の技術者が  
 短期間で派遣される) が、これは、全体の 70% の改善、  
 である。  
 — 必要最小限の equipment はある  
 — 言葉: 英語、アラビア語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学卒 実務経験3年以上 732年マッシュルームの導入  
 (技術者としての経験) 3年以上あり、実務経験と存在。



# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和54年9月10日

115 土 壌 肥 料

調査者氏名 大西規夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
タニザニア	(現地公用語)	(男) 2人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	(どちらでも可) 人	受入期限迄年8月迄に現地到着のこと	

**(1) 配 属 先**

1. 配属先名称 (現地公用語): *Manpower Development Div., Min. of Agriculture*  
 (日本語): 農業省 人材開発局

2. 隊員勤務先名称: *Min. of Agriculture Training Institute* 日本語名称 (農業専門学校)  
 所在地: *Nyegesi (Mwanga)* 主要都市からの距離 67kmより10キロ

3. 事業規模及び内容: 1977年農業普及の養成を目的として西ドイツの援助で開校した農業専門学校である。同校は2年制で *Irrigation* と *Agro-Mechanization* の2科があり、生徒数は *Certificate Course* が90名、*Diploma Course* は20~30名

4. 設備概要: 校舎はほぼ完成しているが、実習用の農場は整備中であり、ホトシ施肥100%、パイナップル50%、灌漑用水路60%、耕地整理70%、排水工も40%、農道50%、栽培率40%という現状である。

(2) 隊員の業務内容: 実習場における化学分析と学食への講義が主体となる。学食が修業方針の科目は、植物・土・水の関係・土壌学・土壌調査・土地分類・土壌保全・一般作物栽培・灌漑作物栽培・作物保護・農業機械・測量・地図作成・土地調査・技術製図・灌漑工学・ホトシ技術と操作・作物貯蔵法・灌漑経済・70km外研修・政治教育等であるが、隊員はこのうち、植物・土・水の関係及び土壌学の講義を受け持つ(食を実習) 学食は *Secondary School* の中4学年を終了した者や *Certificate Course* を終了した者、また数年の実務経験を積んで入学した者などがあり、年齢は18歳から25歳の子。中には相当の年配者(高年齢)もあり、程度は日本の農業短大ぐらいである。

同校は西ドイツの援助で開校したものであり、現在も4名の専門家が1子地に12人3人づつ5人1人の専門家がいます。

機材関係は殆んど揃っており、隊員が携行すべき機材は参考者程度で十分である。

日本語もよく、講義は英語を使うので英語は最低の条件である。

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待:**

タニザニア政府は全目的の規模で農業普及を目的としており、国内農場に専任の普及官を配置する普及官の養成に努めている。

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**

○(大学) 実務経験3年 ○英語が堪能であること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和57年2月 日

120 農業 土木

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Agricultural Engineer (日本語) 農業土木	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Mountain State Agricultural College  
(日本語): 山県国立農科大学

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 (同上)  
所在地: La Trinidad, Benguet 小川 主要都市からの距離 (11kmより7キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 同大学は、北部ルソン山岳地にある各州における農業開発推進のための人材育成を目的に設立された大学であり、高校も併設している。同大学は所有の約320haの山地を南菜(ようちん菜)としており、(こぼれ)ニ. 設備概要: 1に80haの測量を終えている)測量のため、道路通りの面で隊員が必要

1. 測量に必要な持材は一通りそろっている。2. 小型のフィールドカーがある。

(2) 隊員の業務内容: 隊員は同大学に所属され Agro-Forestry Special Project (同大学所有の山地開発プロジェクト) 部門で、大学所有山地(320ha)の測量、ため池、道路づくりなどに従事する。同山地はこぼれで80ha分が測量済みであり、うち15haにココ、カニキツミ等をお植している。他の測量の終わった山地を南菜、ココ、カニキツミ、アマガキ、クアバ等の果樹、シヤガイ、カツマイ、キャッサバ等の根菜類、その他の野菜等を栽培していくことになっている。このような持材の栽培を達成するには、山地の等高線入り地図が必要であり、そのための測量が必要らしい条件になっている。

① 隊員の業務上の地位は Agro-Forestry Special Project の長の技術アドバイザー ② 技術は、測量の地、小型のダム池、山地の道路づくりなど ③ 同山地は大学の校舎のあとで3から4km離れたところにあり、隊員はこの project site に毎日で行き、カウンターパートと常に実務を行う。④ カンパートの技術水準はあまり高くない。⑤ トランジット等測量に必要な持材は一通りそろっている。また JOLV が持材として小型フィールドカーもある。⑥ 同大学にはほかに果樹の隊員が1人いる。⑦ 使用する言葉は、英語、イロカノ語、フィリピン語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 同大学は約20年計画で所有の山地320haを南菜、果樹、工業作物、根菜類、野菜等を栽培する計画である。この将来目標達成のため同山地の測量を行うのが前提となっており、できただけは早くこの測量を終えたいと希望しており、隊員に測量チームのカウンターパートをつけている。土井康弘隊員(54/12 農業土木)の交替

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
職種関係の大学卒、できれば2-3年の実務経験があることが望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和57年 2月 日

120 農業土木

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定		
フィリピン	(現地公用語) Agricultural Engineer (日本語) 農業土木	(男) 1人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始	年	月
			派遣予定	年	月
			受入期限	年	月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Southern Philippines Development Authority

(日本語): 南部フィリピン開発機構

ロ. 隊員勤務先名称: 同上

日本語名称 ( )

所在地: カカヤテ和布コタハト市のいあわか 主要都市からの距離 ( )

ハ. 事業規模及び内容: 隊員は南部フィリピン開発機構のオ10 あまはオ12 地区事務所配属され、主として農業の灌漑の可能な水の調査に従事する。現時点ではこの分野のスタッフはどちらの地区事務所にもない。

ニ. 設備概要: 同機構の本拠はダバオ市にあるが、地区事務所はカカヤテ和布、カニホ、アカブ、コタハト市およびダバオ市にあり、それぞれ数十人のスタッフが

(2) 隊員の業務内容:

農業開発も SPDA がカカヤテを通じて進捗しているが、水が人工的にコントロールできず、ため農業開発がうまく進められていない。大型のカカヤテは国家カカヤテが行っている。しかし小規模のものについてはまだ V 字型から改善していかなくてはならない。そこで SPDA としてはこのような小規模のカカヤテ施設の整備、改善を行っていき考えを持っている。しかし現状では具体的な予算、予算のプロジェクトはほとんどなく、このような小規模カカヤテの可能な水について調査をやりながら調査することから始める。また、農民を集めて小規模のカカヤテについて知識を伝え、改善を講じた。南連の助力をしたりする。

1. 隊員は SPDA の地区事務所配属され、カカヤテについての技術アドバイス
  2. 技術については農業水利のことに詳しいことが望まれる
  3. 業務の中心は調査や農民に対するアドバイスであり、必要に応じて小規模カカヤテの設計、建設を実施する
  4. カラニター・パートは現時点でまだ明らかでないが、5. トランジット等必要機材は SPDA が調達する。
- 使用言語は英語、セバヤ語が中心

(3) 受入希望の背景と受入後の期待:

農業開発には水の供給とそのコントロールが大きな役割を果たす。一方、農業の農民は水がわかっても経営負担が大きいので、灌漑設備の整備に手がかかるとして、灌漑可能な水のカカヤテの調査方法を導入することを望んでいる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農業土木関係の大学を卒業していることが望ましく、1-2年の実務経験を有する方がよい。

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 56年 3月 22日

120 農 業 土 木

調査者氏名 山本 泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
ネパール	(現地公用語) Agri Civil Engineer	(男) 1 人	訓練開始 56年 9月 12日
	(日本語) 農業土木	(女) 人	派遣予定 57年 1月 4日
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Local Development  
(日本語): 地方開発省
- ロ. 隊員勤務先名称: Panchayat Development Training Center 日本語名称 (パンチャセット開発訓練センター)  
所在地: Jhapa, Janakpur, Pokhara, Nepalganj 主要都市からの距離 (より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 地方農村開発のため設置された訓練教育機関である。  
ネパールにおける農村指導者の為の短大と称する。
- ニ. 設備概要: 教室, 訓練生宿舎, 資料室, 作業室, 圃場, 農業土木用器具

(2) 隊員の業務内容:

- ① 業務上の地位: 農業土木コースの Instructor (教官) とする
- ② 接待の範囲: 約6ヶ月の農業土木コースで 40-50人位の訓練生を対象に
- ③ 業務の形態: 測量 小規模灌漑 (村道, 暗渠) について指導する。教室内と実習 (野外) の両方。
- ④ カウンサイル: Overseen 25% の者がカウンセラーとして配置される予定。  
対象者: 訓練生は 20人以上の S.L.C. (10年教育修了者 = 高卒程度) 資格取得者であるか。  
一般的に数学の知識は低い。
- ⑤ 利用できる機材: 土木関係者身揃い。実習時の不足分は地元の L.O.D. プロジェクトで借用できる。
- ⑥ 米三国人の配置: ネパール・パンチャセット訓練センターには JOCV 本島隊員が配属されている。
- ⑦ 使用言語: ネパール語 (専ら用語は英語)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ネパールの地方 (農村) 開発のために、各地域で、農業土木技術者の養成が急がれている。JOCV 隊員は過去にジャポラ, ポカラ, ネパールガンジで農業土木コースを担当し、その評価は高いものがある。今回は、全国的に各訓練センターへ JOCV 隊員が派遣されることを期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大卒 (農業土木専攻) 測量士補。

〈新規要請〉

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 57 年 3 月 日

120 農業土木

調査者氏名 長 倉 孝

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) Agricultural Engineering	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 農業土木	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 57 年 2 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): *Office of the President & Cabinet*  
(日本語): 大統領府

ロ. 隊員勤務先名称: *Irrigation Branch* 日本語名称 (灌溉部)  
所在地: 本部 Lilongwe 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: マラウイ全土の農業土木事業に關する計画・施工・現場管理・維持  
を行う。多くは外国の援助。特に台湾によるもの多く。台湾からの「農耕隊 (Agricultural  
Mission) によって作られたものの維持管理が現在の実際の事業内容。全国に約 30 の支所  
ニ. 設備概要: 車輛・建機を除く本部備品として drawing ボード、及び付属機器、図面青焼き  
コピーマシン、測量器具、パンタグラフ、実体視鏡等がある。

(2) 隊員の業務内容: *irrigation scheme* の維持・管理。

。業務上の地位: *Technical officer*

。技術の範囲: 農業灌溉に關するすべての業務。人事管理、工事管理、工程管理。測量 (水準、  
トウパス、地形) から始り、水路構造物の設計、施工、見積りなど全部隊員一人  
で行なう。しかしながら、それほど高度な技術は必要ない。

。業務形態: *Principal Irrigation Engineer* や *Senior Irrigation Engineer* からの  
要請で現場に出かける。現場の他は本部勤務。

。カウンターパート: なし。現場へ運水に行くマラウイ人は 23 才、小學校卒、レベル測量可。

。使用言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 神道彦 隊員の交代。

当国では農業土木技術者が不足しているため、期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 大学土木科又は農業土木科卒。
2. 実務経験 2 年以上。
3. 測量ができること。マネージメントができること。letter。

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 57 年 | 月 20 日

120 農業 土木

調査者氏名 高橋 臣夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ペルー	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 年 月
	Ingeniería Civil	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
農業 土木			

**(1) 配属先**

イ. 配属先名称 (現地公用語): Sistema Nacional de Cooperación Popular

(日本語): 全国人民協力機構

ロ. 隊員勤務先名称: 具体的な勤務先は隊員の到着を待て 日本語名称 ( — )

所在地: 決定 主要都市からの距離 ( — より — キロ)

ハ. 事業規模及び内容: リマ市に本部を有し、現在国内3ヶ所に事業実施のためのセンターを持つ。(将来は15ヶ所に増設) 各センターには技術者等5~6名が配置され、管轄地域内の住民が自主的に行う中小規模の灌漑工事、耕地造成、道路造成・補修、教育・医療関係施設の建設等のプロジェクトに対し

ニ. 設備概要: どの企業調整、設計・施工等の面で援助・指導を行うものである。これにより、開発の遅れた地域の振興と当該地域住民の自主性を尊重しながら促進しようというのがこの組織の主要目標となっている。

**(2) 隊員の業務内容:**

新規の要請であり、またこの組織そのものが比較的新しいもの(1969~1968年のペルー政権交代時に設立され、その後軍事政権時代は活動と中断、1980年11月に復興された) 未だ体制が整備されていないため、具体的な業務内容は隊員の到着を待て決定せざるを得ない面が多。当面は、今区要請のある農業土木(灌漑)及び土木施工(道路・橋梁、上下水道)3名の隊員がチームを組んで、一定地域内のセンターを巡回して各種プロジェクトの指導にあたることになる。

① 隊員の業務上の地位: 地方事業センターにおける技術顧問として各種プロジェクトを直接指導する他、それを通じてペルー側技術者への技術移転を行う。(地域住民の人材育成も)

② 技術の要請: 小規模灌漑全般に関する知識・技術が要求される。但し高度の専門知識より幅広い実務経験が必要。

③ カウンターパート: 特定のカウンターパートは居ないが各センターに配属されているペルー側技術者と協力して業務を行うことになる。一般に知識は豊富であるが、現場経験に欠ける傾向がある。

④ 利用し得る機材: 計画では各センターにブルドーザー、ダンプカー、小型トラック(自走コンプレッサー、ミキサー、モーターポンプ、空圧ハンマー等)他測量機器一式が配置される予定(この為の資金の一部は日本の借款で購入されることになっている)

⑤ 使用する言語: スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: '80年7月に復帰したペルー政権が、国家再建計画の一環として、開発の遅れた地方の振興を図るために、その具体的な実施機関として復興のためにこの全国人民協力機構である。その活動はマスコミ等によって広く取り上げられており、今後とも益々活動を展開して行くものと予想されるが、核となる技術者が不足している状況にあるため、JOCV隊員の派遣が要請されたものである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 大卒 実務経験3年以上 または 農業高技卒 実務経験5年以上 (測量及び灌漑についての全般的知識・技術を有すること)

② 自動車運転免許 (可能であれば、大型建設機材の運転が出来ることが望ましい)

③ チームを組むための仕事となる為、協調性のある人物

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 4 月 13 日

121 農業機械

調査者氏名 谷川 幸志 雄

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア (ナラ州)	(現地公用語) Agricultural Machinery	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 農業機械	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Korporasi Pembangunan Desa (Rural Development Corporation)  
(日本語): 地方開発公社

2. 隊員勤務先名称: K. P. D (Kota Marudu 配属先) 語名称 ( 地方開発公社 )  
所在地: Block D, Lot 14, Sedco Complex, KK 主要都市からの距離 ( KKより / キロ )

3. 事業規模及び内容: 日本で言う地方開発的のものが多くは属すナラ州首席大臣直属のもっと組織され、従来の地方の開発(米、糖、油、大豆、とうもろこし、野菜)の進行、2025年まで。現在ナラ州各地方、約60のプロジェクトを実施している。

4. 設備概要: 設立以来3年たらずに現在各種設備を準備中のため充分ではない。作物の冷蔵庫、ハット及び乗用トラクター、農機具等の整備がある。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 業務上の地位: 農業機械 Supervisor (農業機械、トラクター、エンジン、ポンプ、エンジン、プロジェクトマネージャー、プロジェクトマネージャー、プロジェクトマネージャー、各種業務の補助を行う)
- ② 技術の範囲: ① 初級技術者の監督及び指導 ② 整備係及び運転者の業務の補助
- ③ 業務の形態: 助言、指導 ③ 農業機械の保守、管理に於いて監督及び指導、ハット、トラクター及び乗用トラクターのメンテナンス及び操作業務に於いて指導及び、各地区プロジェクトの進捗の指導
- ④ 作業の場所: ④ 運搬用トラックの自動車、整備、修理にもあたります。
- ⑤ 作業の時間: 特に準備されたものは、各地区プロジェクトに配属されたエンジン、スタッフ (同職種、同配属先で従事している他隊員はエンジン、スタッフの定期的なトレーニングを実施している)
- ⑥ 機械: ポンプ、エンジン、ハット、トラクター、乗用トラクター、ハット農業散布器、トラクター、草刈り機等 (詳細は日報報告)
- ⑦ 人数: アメリカボランティア
- ⑧ 使用言語: マレー語と英語 (訓練はマレー語で英語は自習している)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: KPDは設立されて以来3年たらずに歴史も浅く必要の機械及び中級技術者の人材が不足している。現在約60の南発プロジェクトの総流中でさらに1年6ヶ月、新しいプロジェクトを計画している。これら南発プロジェクトに肉を農業機械を以て技術及び農業地開発のプロジェクトを助言しながら実際の指導を行ってくださる実務経験豊かな技術者の受け入れを期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 農業機械関係の学業を終了資格を得た人で実務経験がある人、又は同等の能力がある人
- ② 可能な限り自動車整備士3級程度、取得者が望ましい。

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 57年 3月 13日

125 農業機械

調査者氏名 表伸一郎 巻

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 57年 10月
	Agricultural Machinery	(女) 人	派遣予定 58年 2月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
125 農業機械			

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Directorate of Agriculture (Extension & Management)  
 (日本語): 農林省農業普及局 (AETI)

ロ. 隊員勤務先名称: Agriculture Extension Training Institute 日本語名称 (カバング農業普及局養成所)  
 所在地: P.O. Gaibanda, Dist: Rangpur 主要都市からの距離は約50キロ

ハ. 事業規模及び内容: 農林省傘下全国12ヶ所に設立された学校で、生徒数約160名、敷地90エーカーの中園場60エーカー、スタッフは校長以下8名の教師、農場職員約20名、農夫30名で運営されている。

ニ. 設備概要: 事務所、教室、生徒寮、職員住宅、農機具は、トラクタ-1台、クボタトラクタ-1台、ヤンマーパワーテラ-2台、パワーズプレ-2台、各種農機具。

(2) 隊員の業務内容: 卒業後普及員となる生徒に対し、農業機械を担当し、主-実習を中心として指導する。言語の慣れに従って理論の授業を担当することもある。

1) 隊員の業務上の地位: 教官

2) 技術の範囲: 各種農機具の保守管理、簡単な修理技術と生徒指導に関する理論的把握と授業能力。

3) 業務の形態: 教室、ワークショップでの指導のほか、各種機械の維持修理及び農場運転手への直接指導、又農村普及活動もあり、トラクタ、パワーテラ、パワーポンプの貸出しのほか、5年余の歴史を持つ手押しポンプ貸出しも行う。

4) 対象者及びカテゴリー: カテゴリーは農業機械担当教官で30才前後、農業大学を出ているが農機専攻ではなく理論的に貧弱。生徒は10学年卒で20才前後、農家自身が多いため機械に不慣れが多い。

5) 現地で利用できる機械: 上記農業機械のほか、大雑把な工具類、水々ワークショップ開設に伴い、溶接機、ドリルマシン等そうえる予定。

6) 取場との茅草圃人: はい、稲作、野菜、隊員がいる。

7) 使用する言語: 生徒とはベンガル語、校長、教官とは英語も必要。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 農業普及局養成所へは、現在13ヶ所の隊員が配置され、実技面での指導にあてられている。カバング農業機械は3ヶ月間の実技面での指導が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大卒。



日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 4月 22日

125 農業機械

調査者氏名 石川 満男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ケニア	(現地公用語) Agricultural Machinery (日本語) 農業機械	(男) / 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 57年 10月 派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Higher Education  
(日本語): 高等教育省

2. 隊員勤務先名称: The Jomo Kenyatta college of 日本語名称 (注: ケニア農工大学)  
所在地: Agriculture & Technology 主要都市からの距離 (首都より 35キロ)

3. 事業規模及び内容: 我国の無償資金協力(約1億円)及び技術協力により  
新設された4年制大学 農学部3学科(園芸・農業工学・食品加工)、  
工学部3学科(機械工学・土木建築・電気)、学生数720名、教・職員120名  
4. 設備概要: 建物、内部設備、教機、機材共相撲を同じくする  
国の大学と同じ水準のものを整備している。

(2) 隊員の業務内容:

① 大学教員(工学部 機械工学科 農業機械学担当)

② 主として農業機械の動力部門を担当  
内燃機関(主にディーゼル)の理論と修理  
大小トラクター、揚水ポンプ等を含む動力付の農業機械の理論と修理

③ ケニア人・日本人専門家と全く同様に大学の教員として専門科目を担当

④ 学生は K.C.E 以上(11年以上)、年令 18 年以上  
(Kenya certificate of Education 小学校7年中学校4年卒業)

⑤ 本邦より贈送した機材(約1億円)を使用出来る

⑥ ケニア人教職員 80名、日本人専門家 22名

⑦ 英語(講義と全て英語で行う)を以て英語に堪能である事が望ましい

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニア政府は第4次経済開発5ヶ年計画(1970-74)の  
必要不可欠な技術者の深刻な不足を痛感し、これを克服するため職業  
技能訓練に重点を置いた教育制度の改革を行おうとしている。  
本隊はその頂点にあつた今後ケニアの技術者養成及び社会  
への供給を担う事が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 大学卒以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

121 農業機械

記入昭和 56 年 3 月 20 日

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Agricultural Mechanics Institute	(男) 1 人	訓練開始 56 年 10 月
	(日本語) 農業機械教官	(女) 人	派遣予定 57 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 57 年 4 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 MINISTRY OF EDUCATION AND CULTURE

1. 配属先名称 (現地公用語): Department of Technical Education & Vocational Training  
(日本語): 文部省、技術教育職業訓練局

2. 隊員勤務先名称: KABWE TRADE TRAINING INSTITUTE 日本語名称 (カ) 工高等職業訓練校  
所在地: RO.FOX 80430 KABWE 主要都市からの距離 (市内より 10 キロ)

3. 事業規模及び内容: 学生の入学資格は高校 3 年 (FORM IV) 卒業試験に合格したもので、  
学生数 400 名、175 名平均生徒数 10-15 名、全体で 14 コースあり、修学年数は 2 年から 3 年、  
1 日 9 時から 12 時まで、速記科は 5 月、教員 40 名 (20 名は女性、10 名はシバエ人、10 名は白人) 当校  
は従来以前、1950 年に工業学校として設けられ、当初は木工作科だけで済んでいたが、1971 年に  
十分政府援助を受け現在に至っている。ニ。設備不満足: 指導に必要な程度の持込等

(2) 隊員の業務内容: 1. はさみであるが、設備全般の管理の悪い為、破損が目立つ。

1. 業務上の隊員の地位: 農業機械科の専任教員

2. 技術の範囲: 農業機械の理論に精通していること、および、実技指導にまか置  
かれているので、実際の経験が豊富なことが必須条件となる。  
(学科と実習の比率 1:3)

3. 業務上の形態: 毎週 2 時間程度の授業を担当。1 時限 45 分。  
(学科 2 時間、実習 2 時間) 他に課外活動。

4. 訓練生: 毎週 2 時間程度 FORM IV 卒業試験合格者。  
(高校 3 年卒業程度)

5. 利用する教材: 実習の教員には必要最低限の教材は備わっているが、  
破損が目立つ。

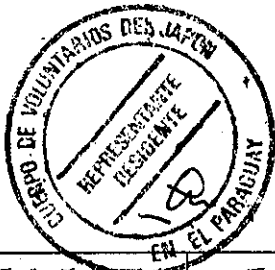
6. 語学: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ザンビアは、この国で、中間技術者の育成は急務であり、特に教育分  
野への協力を必要としている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 短大、高専以上 5 年教授経験者希望あり。
- ② 実務経験 3 年以上
- ③ 単身者
- ④ 英語必須



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 57 年 / 月 日

125 農業機械

調査者氏名 CEMA リーダー(副隊長)

木村 睦生

留月久

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
パラグワイ	(現地公用語) AGROMECHANICA (日本語) 農業機械整備	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	57年7月	
(1) 配属先 ENSEÑANZA AGROPECUARIA, Y FORESTAL					
① 配属先名称(現地公用語): de MINISTERIO DE AGRICULTURA Y GANADERIA					
(日本語): 農牧省 農林業教育局					
② 隊員勤務先名称: イタプア県ピラホ 日本語名称(農業機械化センター)					
所在地: CENTRO DE MECANIZACION AGRICOLA (CEMA) 主要都市(エカルション)から 63 キロ					
③ 事業規模及び内容: 農業機械化センター(CEMA)は所修施設の他に附属整備工場約 900 m <sup>2</sup> を有し農業機械の受託修理の実施を行うとともに地域農家に於ける機械の管理整備に由る普及活動巡回指導等を実施する。なおCEMAにはパ国技術者の他日本人専門家も派遣)					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): (できて居る) 整備工場(一種認定設備以上)、移動修理車及び連絡車、巡回指導車					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 整備指導員及び普及指導員					
② 技術の範囲: 農業機械一般についての知識を有するとともに、農業機械士又は3級自動車整備士程度の技能を有する事。					
③ 業務の形態: 農牧省直営の修理工場の運営に参画する。主な業務としては、①巡回指導と②修理である。現在南部パラグワイ地方には、若手の農機師が2000台以上稼働しているが十分な機能を發揮していない。又保全管理も不十分である。各農家に対し、整備カードを配布し、故障の事前チェック、保全付原農具の適切な装束等、巡回指導を実施すると修理工場における実際の修理を行う					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者として一般の農業従事者 カウンターパートとして、パ国の農業機械学校卒業生、及びバチン熟練修理工を採用の予定					
⑤ 現地で利用できる機材: 整備工場の設備、附属車両等総て利用出来る。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: スパインレ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: CEMAは、日芭両国政府の協定にもとづく、技術協力Projectである。南部パラグワイ地方の農業機械化政策を推進することが目標であるが、今後2年間目標を達成するためには、専任の専門家スタッフでは不十分であり、且、パ国技能者ではこの業務を消化する技術者が不在である。日本の青年海外協力隊員の参加の必要低下、パ国が認め、且、期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 特定の技能資格等は必要ないが、機械・電気の基礎知識 語学力(特に機械用語) → 取得している事が望ましい。					
※ 事務局記入					